

Windows Vista 編



1. ネットワークサービスと TCP/IP プロトコルを設定する	2
2. コンピュータ名とワークグループを設定する	7
3. フォルダ / ドライブやプリンタを共有する	11
フォルダ / ドライブを共有する	11
・ コンピュータ上の任意のフォルダを共有する	11
・ 「パブリックフォルダ」を利用して共有する	15
・ 他のコンピュータの共有フォルダやドライブにアクセスする	17
プリンタを共有する	19
・ サーバ側のコンピュータについて設定する	19
・ クライアント側のコンピュータについて設定する	23
4. Windows Vista のアカウントを設定する	28
アカウントを登録する	28

1

ネットワークサービスと TCP/IP プロトコルを設定する

Windows Vista でネットワークが利用できるようにネットワークサービスと TCP/IP プロトコルを設定します。ネットワークサービスについては [基礎知識編 -11] ページ「サービス」、TCP/IP プロトコルについては [基礎知識編 -12] ページ「3. TCP/IP プロトコルと IP アドレス」をお読みください。



管理者 (Administrator)

Windows Vista は複数のユーザー名でコンピュータを使用できます。その中でシステムやデバイス、ネットワークなどの設定・変更が許されるのは「管理者 (Administrator)」という権限を持つユーザーだけです。通常使用しているユーザーの権限を確認するには、[スタート] → [コントロールパネル] → [ユーザーアカウント] を開きます。アカウントのユーザー名の下に「Administrator」と表示されているかを確認してください。



[ネットワーク] を右クリックする方法

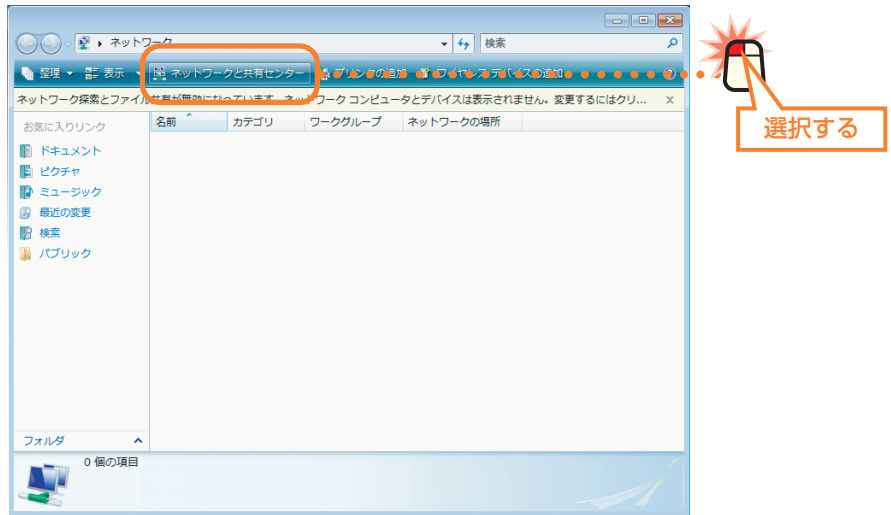
[ネットワーク] を右クリックし、メニューの [プロパティ] を選択する方法もあります。〈ネットワークと共有センター〉画面が表示されますので、手順 **5** へ進みます。

1 Windows Vista には、「管理者 (Administrator)」の権限を持つアカウントでログオンしておきます。

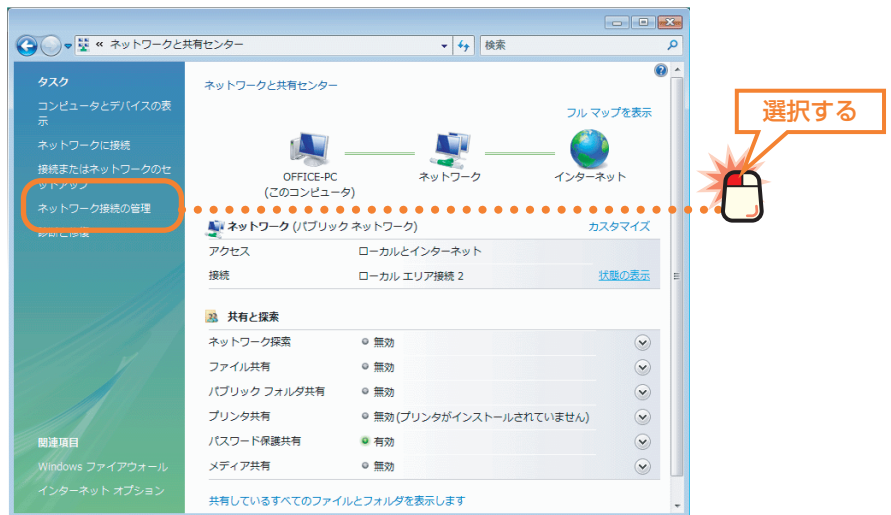
2 **1** [スタート] ボタン → **2** [ネットワーク] を選択します。



3 [ネットワークと共有センター] を選択します。



4 [ネットワーク接続の管理] を選択します。



[ローカルエリア接続] の表示について

ご使用の環境によっては、[ローカルエリア接続 2] というように最後に番号が付いている場合がありますが操作には関係ありません。

5 ① [ローカルエリア接続] を右クリックします。 ② [プロパティ] を選択します。





〈ユーザーアカウント制御〉画面について

Windows Vista では、重要な設定項目については、第三者に変更されるのを防ぐため、設定画面に移る前に確認画面が表示されます。該当する設定項目にはアイコンが付いています。

パスワードの削除

画像の変更

アカウント名の変更

アカウントの種類の変更

確認画面が表示されないようにするには、[コントロールパネル]→[ユーザーアカウント]を選択し、[ユーザーアカウント制御の有効化または無効化]をクリックします。表示された画面で [ユーザーアカウント制御 (UAC) を使ってコンピュータの保護に役立たせる] チェックボックスをオフにします (再起動が必要です)。



アダプタの名称について

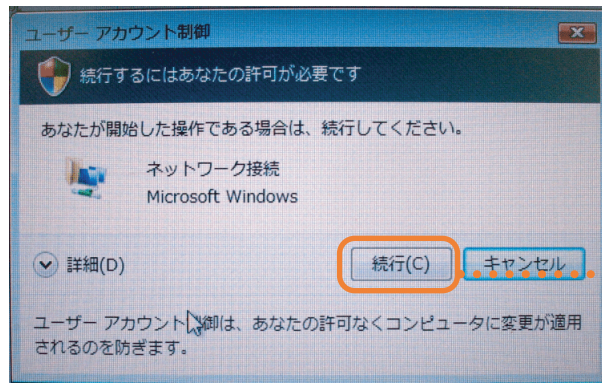
[接続の方法] に表示されているアダプタ名は、実際にはご使用の LAN アダプタの名称が表示されます。



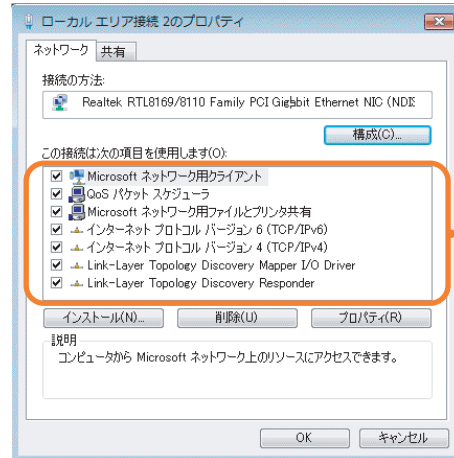
オフになっているときは

オフ (☐) の状態の場合はチェックボックスをクリックしてオン (☑) の状態にします。

6 〈ユーザーアカウント制御〉画面が表示されますので、**続行** ボタンをクリックします。



7 LAN を利用するのに必要な項目が有効になっているかを確認します。



●以下の項目のチェックボックスがオンになっていることを確認します。

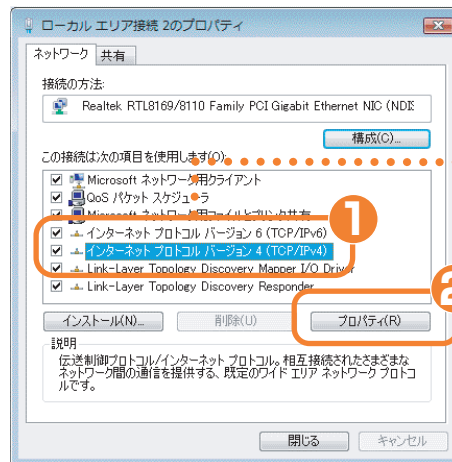
- Microsoft ネットワーク用クライアント
- Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有
- インターネットプロトコルバージョン 4(TCP/IPv4)



インターネットプロトコルバージョン 6 (IPv6) について

インターネットプロトコルバージョン 6 (IPv6) の設定は、対応のルータまたはネットワークに接続していない場合は特に変更する必要はありません。

- 8** ① [インターネットプロトコルバージョン 4(TCP/IPv4)] を選択します。
- ② **プロパティ** ボタンをクリックします。



DHCP サーバ機能とは

ルータなどに標準で装備されている機能です。ネットワーク上のコンピュータに IP アドレスを自動的に割り当てることができます。詳しくは [基礎知識編 -14] ページ「IP アドレスの設定が不要になる『DHCP サーバ』」をお読みください。

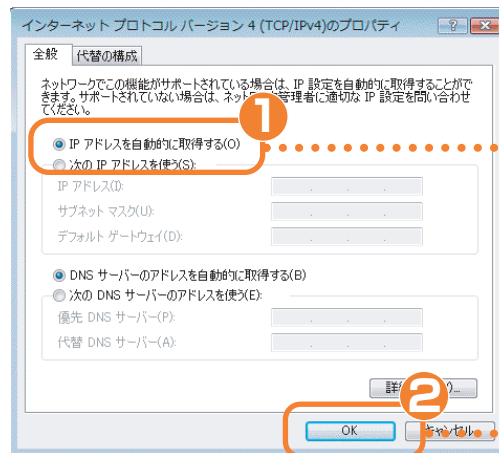


TCP/IP プロトコルの初期値は [IP アドレスを自動的に取得する] になっていますので、通常は確認するだけになります。

- 9** ご使用の環境に合わせて IP アドレスの設定方法を指定します。

●ルータなどの DHCP サーバ機能を利用している場合

- ① [IP アドレスを自動的に取得する] を選択します。
- ② **OK** ボタンをクリックし、手順 10 へ進みます。



**入力時のポイント**

「.」を入力する必要はありません。アドレスが3桁未満の場合は **[]** キーを押すと、となりの入力位置へカーソルが移動します。

**デフォルトゲートウェイ**

通常、小規模ネットワークでは「デフォルトゲートウェイ」を設定する必要はありません。インターネット接続などでプロバイダより指示がある場合は、その指示に従ってください。

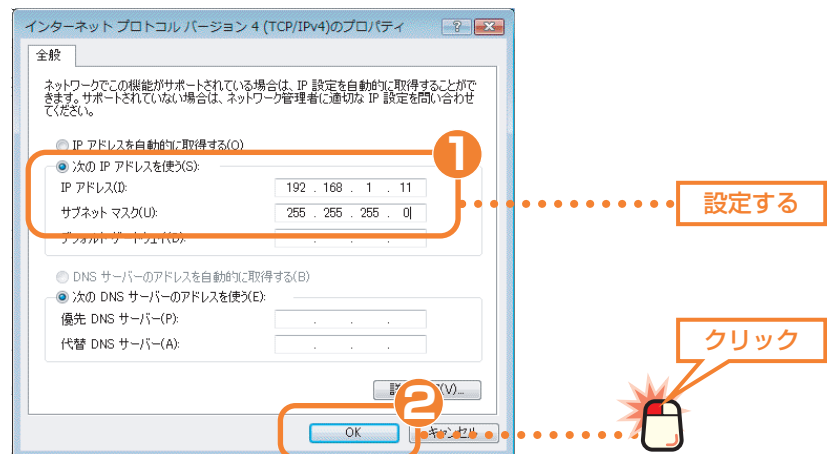
● DHCP サーバ機能を利用していない場合

ネットワーク上の各コンピュータに IP アドレスを手入力する必要があります。あらかじめ記入しておいた「マイネットワーク設定リスト」(→ [基礎知識編 -15] ページ) を元に、次の手順で IP アドレスを入力します。

① [次の IP アドレスを使う] を選択し、以下の操作をします。

- ・ [IP アドレス] にあらかじめ決めた「192.168.」から始まる数値を入力します。
- ・ [サブネットマスク] の入力スペースにカーソルを移動します。自動的に「255.255.255.0」と入力されます。

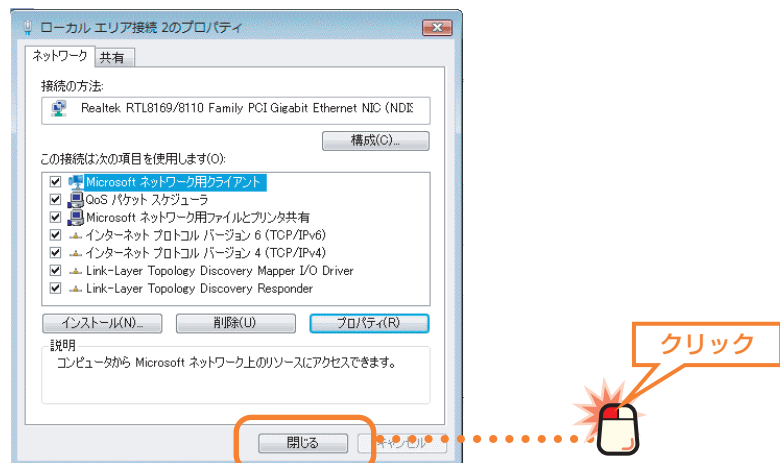
② **[OK]** ボタンをクリックし、手順 **10** へ進みます。

**[OK] ボタンが表示された場合**

設定を変更した場合は、**[閉じる]** ボタンではなく **[OK]** ボタンが表示されることがあります。その場合は **[OK]** ボタンをクリックしてください。

**再起動画面が表示された場合**

コンピュータを再起動するようにメッセージが表示された場合は **[はい]** ボタンをクリックして、Windows を再起動してください。

10 <ローカルエリアネットワーク接続のプロパティ> 画面に戻りますので **[閉じる]** ボタンをクリックします。**11** <ネットワーク接続> 画面の右上にあるクローズボックス **[X]** をクリックします。

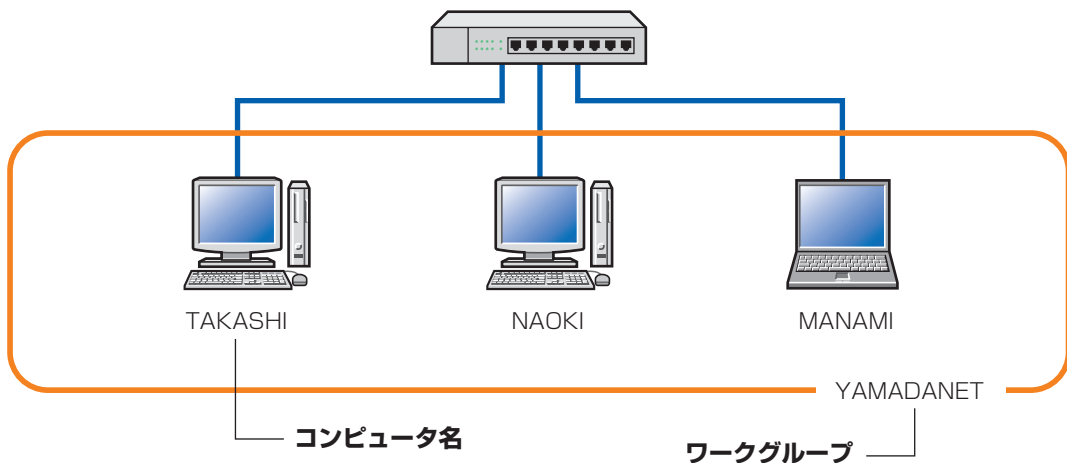
これでネットワークサービスとプロトコルの設定は完了です。このあとはコンピュータとネットワークの名前を設定します。次ページ「2. コンピュータ名とワークグループを設定する」へ進みます。

2

コンピュータ名とワークグループを設定する

ネットワークに接続するコンピュータをそれぞれ区別するために、各コンピュータに名前を付けます。また、ネットワークに「ワークグループ」と呼ばれるグループの名前を設定します。同じワークグループに所属するコンピュータだけがファイルなどを共有できます。コンピュータ名とワークグループの詳しい説明については [基礎知識編 -10] ページ「コンピュータとネットワークの名前」を参照してください。

●コンピュータ名とワークグループ



※コンピュータ名およびワークグループの名前は半角英数字で設定してください。

- 1 [スタート] ボタン→2 [コンピュータ] を右クリックします。
- 3 メニューの [プロパティ] を選択します。

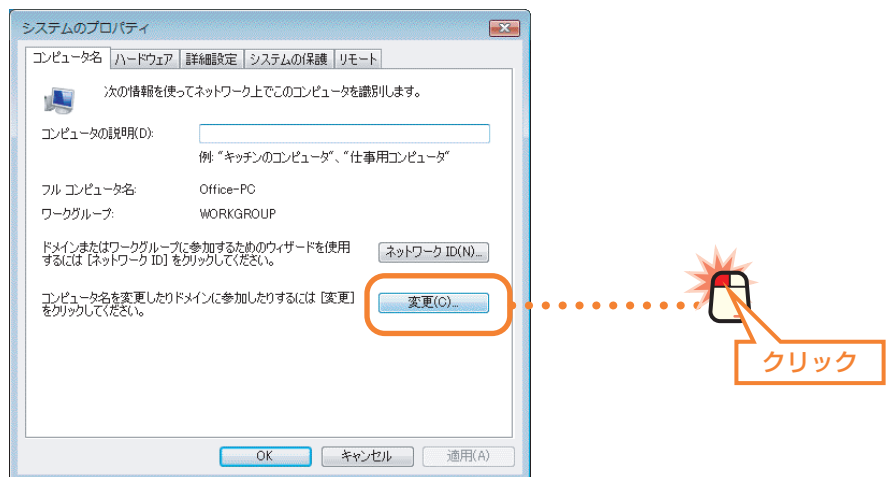


2 [コンピュータ名、ドメイン名およびワークグループの設定] の [設定と変更] のリンクをクリックします。



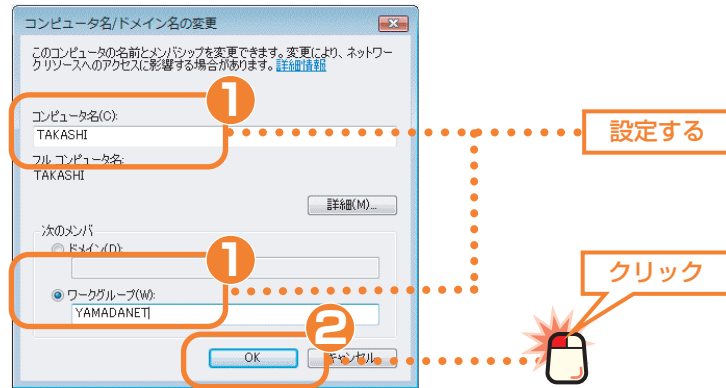
3 <ユーザーアカウント制御> 画面が表示されますので、**続行** ボタンをクリックします。 画面は [Windows Vista 編 -4] ページを参照してください。

4 **変更** ボタンをクリックします。



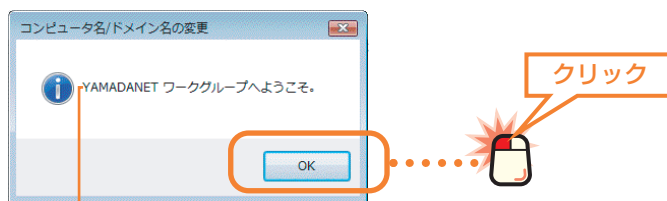
 Windows Vista Home ではワークグループのみを選択するようになっています。

5 ① コンピュータ名とワークグループの名前を入力します。
② **OK** ボタンをクリックします。



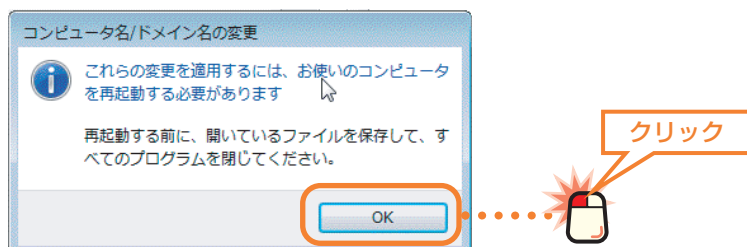
・コンピュータ名とワークグループの名前に使用できる文字は半角英数字 (A ~ Z, 0 ~ 9) と「-」で、15 文字まで入力できます。漢字などの 2 バイト文字はトラブルの原因になりますので使用しないでください。

6 ワークグループ名を変更した場合は以下の画面が表示されますので **OK** ボタンをクリックします。
コンピュータ名だけを変更した場合はこの画面は表示されませんので次の手順 **7** へ進みます。

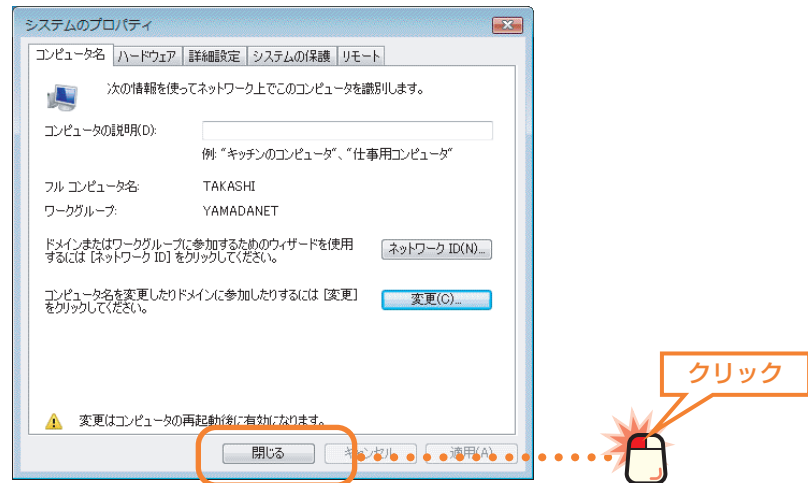


新しく入力したワークグループの名前が表示されます。

7 以下の画面が表示されますので **OK** ボタンをクリックします。

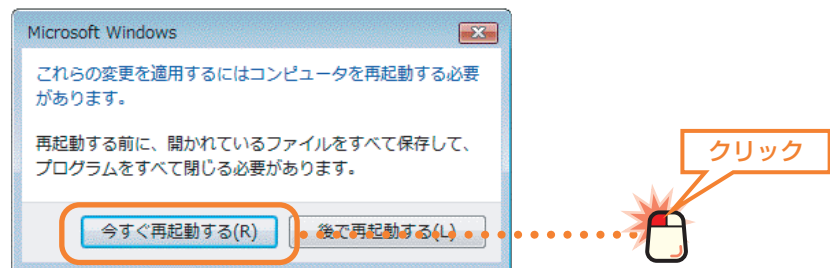


8 <システムのプロパティ> 画面の【コンピュータ名】タブに 戻りますので【閉じる】ボタンをクリックします。



新しく設定したコンピュータ名とワークグループは、再起動するまでは使用できません。

9 再起動を確認するメッセージが表示されますので 【今すぐ再起動する】ボタンをクリックします。



Windows が再起動すると新しく設定したコンピュータ名とワークグループが有効になります。このあとはネットワークで共有するフォルダやドライブ、プリンタの設定をします。次の「3. フォルダ / ドライブやプリンタを共有する」へ進みます。

3

フォルダ/ドライブや プリンタを共有する

これまでにネットワークを利用するための準備ができました。実際にネットワークを利用するには、コンピュータごとに共有設定をおこなう必要があります。ここでは小規模ネットワークでよく利用するファイル共有とプリンタ共有の方法について説明します。ファイル共有とプリンタ共有の概念については、[基礎知識編-3] ページ「1. コンピュータが2台あればLANでつながろう」をお読みください。

●ファイル共有(フォルダ/ドライブの共有)→このあと

自分のコンピュータにあるファイルを他のコンピュータのユーザが参照できるように共有設定をおこないます。共有できるのはフォルダ単位またはドライブ単位で、共有したフォルダまたはドライブ内にあるすべてのフォルダやファイルを参照できます。

Windows Vista でファイルを共有する方法には2つの方法があります。

■コンピュータ上の任意のフォルダを共有する→このあと

■「パブリックフォルダ」を利用して共有する→[Windows Vista 編-15 ページ]

●プリンタ共有→[Windows Vista 編-19] ページ

プリンタを共有すると複数のコンピュータに対してプリンタが1台しかない場合でも、ネットワークを利用してすべてのコンピュータから印刷できるようになります。

フォルダ/ドライブを共有する

コンピュータ上の任意のフォルダを共有する

フォルダ単位またはドライブ単位で共有設定をおこないます。ここでは例として任意のフォルダを作成し、そのフォルダを共有化する方法を説明しています。

共有フォルダや共有ドライブ使用時の注意

フォルダやドライブを共有化すると、共有化したフォルダ/ドライブの中にあるすべてのフォルダが共有化されます。そのためすべてのフォルダ内のファイルを他のコンピュータから参照できるようになりますのでご注意ください。共有化したフォルダ/ドライブの中にあるフォルダを参照されたくない場合はフォルダを別の場所に移動するなどしてください。



共有フォルダ名について

Windows Me/98 を使用するコンピュータがネットワーク上にある場合は、半角英数字などでフォルダおよびドライブ名を作成してください。全角文字を使用すると正常に認識されないなどの問題が発生します。Windows XP/2000、Windows Vista だけの場合は全角文字を使用してもかまいません。

1

新しいフォルダを共有する場合、お好みの場所に新しいフォルダを作成します。ドライブを共有する場合や、すでにあるフォルダを共有する場合は次の手順へ進みます。



作成する

- ・新しくフォルダを作成した場合は、フォルダ名をわかりやすい名称に変更します。漢字などの全角文字を使用することもできます。

- 2** ①共有したいフォルダを選択します。
 ②メニューから[共有]を選択します。



※画面例はフォルダを選択した場合です。



リストにユーザが表示されない場合

フォルダを共有したいユーザがリストに表示されない場合は、[新しいユーザーの作成]をクリックして〈ユーザーアカウント〉画面からユーザを追加してください。

- 3** 共有したいユーザを選択して、**追加** ボタンをクリックします。



4 アクセス許可のレベルを選択して、共有 ボタンをクリックします。



●閲覧者

ファイルを開く、コピーすることができます。

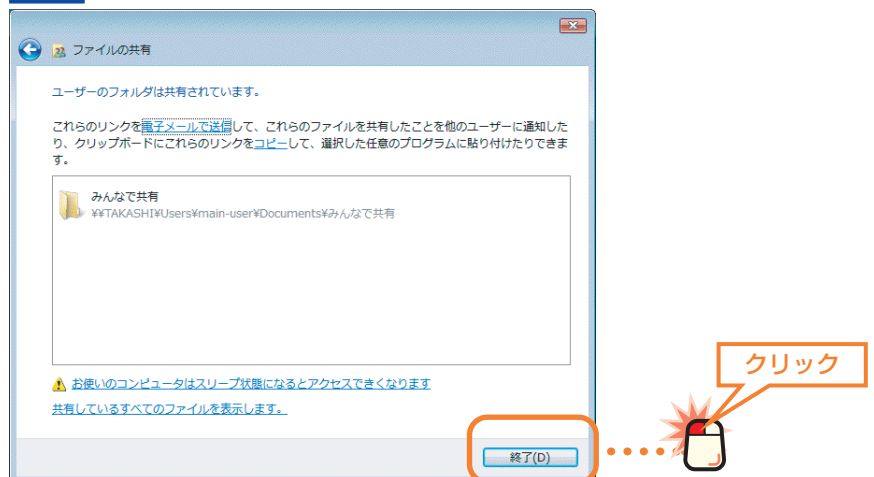
●投稿者

ファイルを開く、コピーする、新たなファイルの書き込み、追加したファイルの変更や削除ができます。他のユーザのファイルは変更／削除できません。

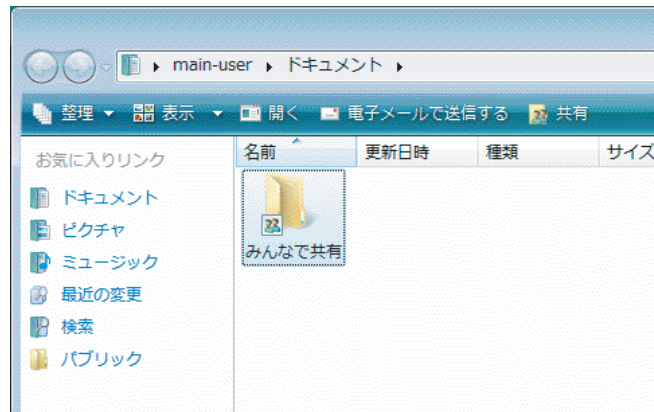
●共同作成者

ファイルの読み出し、書き込み、追加、変更、および削除ができます。

5 終了 ボタンをクリックします。



6 アイコンに人物のマークが付きます。



・人物のマークは共有中のフォルダ/ドライブであることを表します。

これでフォルダまたはドライブの共有設定は完了です。

共有化したフォルダやドライブの下層フォルダについて

フォルダやドライブを共有化すると、共有化したフォルダ/ドライブの中にあるすべてのフォルダも共有化されますのでご注意ください。共有化したフォルダ/ドライブ内にあるフォルダを共有化したくない場合は別の場所に移動してください。

「パブリックフォルダ」を利用して共有する



どのようなときにパブリックフォルダを使うか

パブリックフォルダに格納したファイルは、ネットワーク上のすべてのユーザに公開されます。ユーザごとにアクセス許可を制限したり、アクセスをさせたくない場合は、任意のフォルダに対して共有設定をおこなってください。

→ [Windows Vista 編 -11] ページ

Windows Vista には「パブリックフォルダ」と呼ばれるファイル共有方法が用意されています。パブリックフォルダはWindows内に1つだけ存在し、コンピュータ上のすべてのアカウントユーザで共有します。

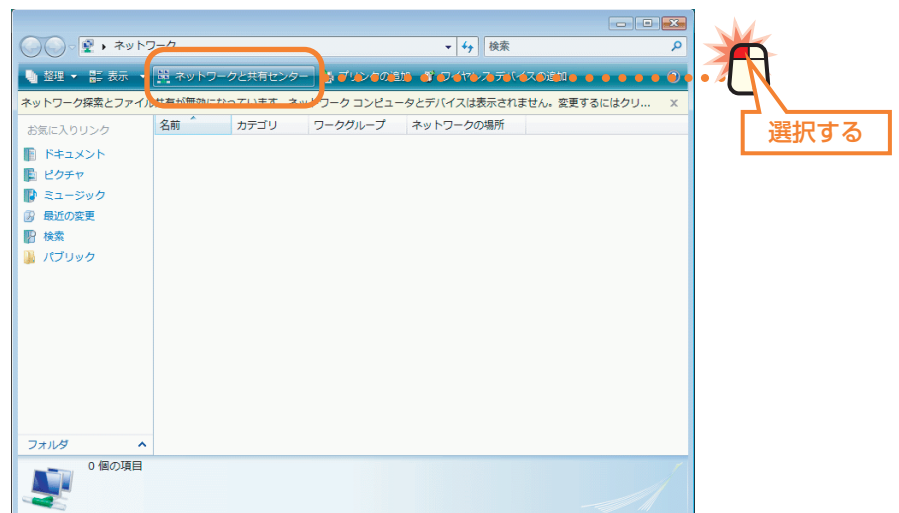
パブリックフォルダは、ルートディレクトリの Users フォルダ内の Public フォルダにあります。

パブリックフォルダを利用してファイルを共有する方法を説明します。

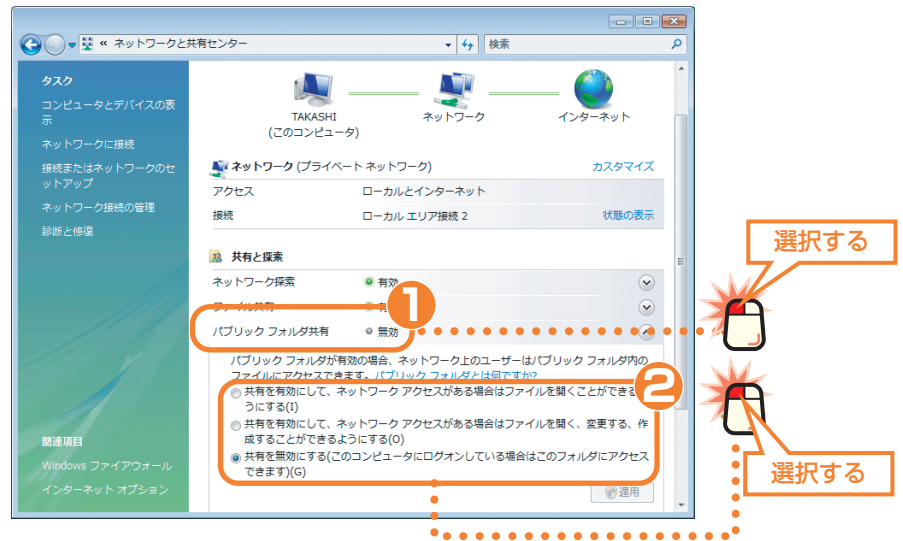
1 [スタート] ボタン → 2 [ネットワーク] を選択します。



2 [ネットワークと共有センター] を選択します。



3 ① [パブリックフォルダ共有] を選択し、②共有方法を選択します。



●共有を有効にして、ネットワークアクセスがある場合はファイルを開くことができるようにする

ネットワーク上の他のコンピュータの利用者がパブリックフォルダ内のファイルを開いたり、コピーしたりできるようにします。

●共有を有効にして、ネットワークアクセスがある場合はファイルを開く、変更する、作成することができるようにする

ネットワーク上の他のコンピュータの利用者がパブリックフォルダ内のファイルの内容を変更 / 削除することができるようにします。

4 適用 ボタンをクリックします。

これでパブリックフォルダの設定は完了です。これにより、パブリックフォルダに格納したファイルがネットワーク上のユーザに公開されます。

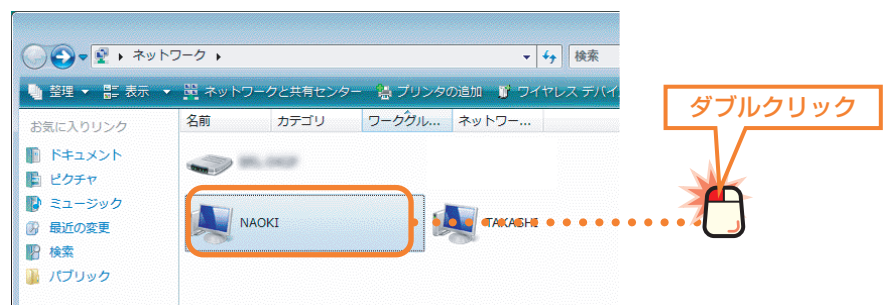
他のコンピュータの共有フォルダやドライブにアクセスする

他のコンピュータの共有フォルダやドライブにアクセスする方法を説明します。

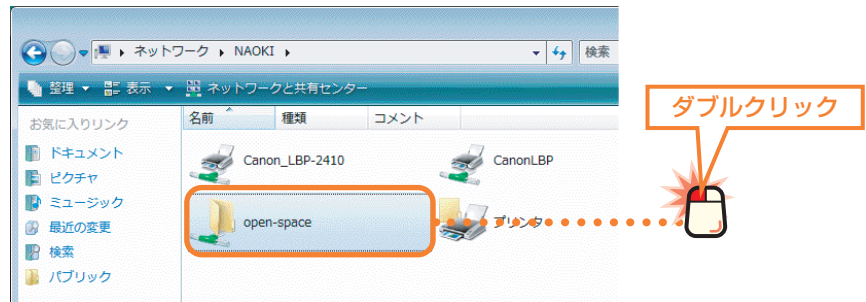
1 ① [スタート] ボタン → ② [ネットワーク] を選択します。



2 アクセスしたいフォルダまたはドライブが格納されたコンピュータをダブルクリックします。



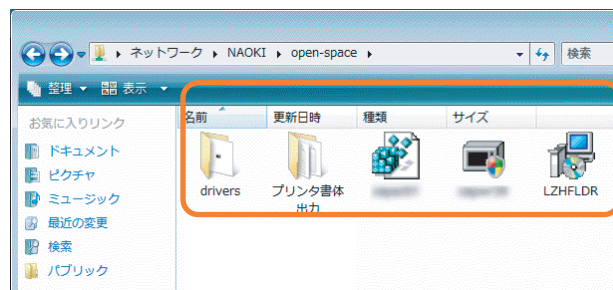
3 アクセスしたいフォルダまたはドライブのアイコンをダブルクリックします。



アクセスを拒否されたり、パスワードの入力を要求された

フォルダやドライブを共有設定している側でアクセス権限を設定している場合は、アクセスを拒否されたり、パスワードの入力を要求されます。このような場合はアクセス先のコンピュータのユーザーに設定状態を確認し、必要に応じてアクセス権限を変更してもらったり、パスワードを教えてください。

4 相手の共有フォルダまたはドライブにあるファイルが表示されます。



このあとは共有設定のアクセス権限に合わせてファイルをコピーしたり、変更したりできます。

プリンタを共有する

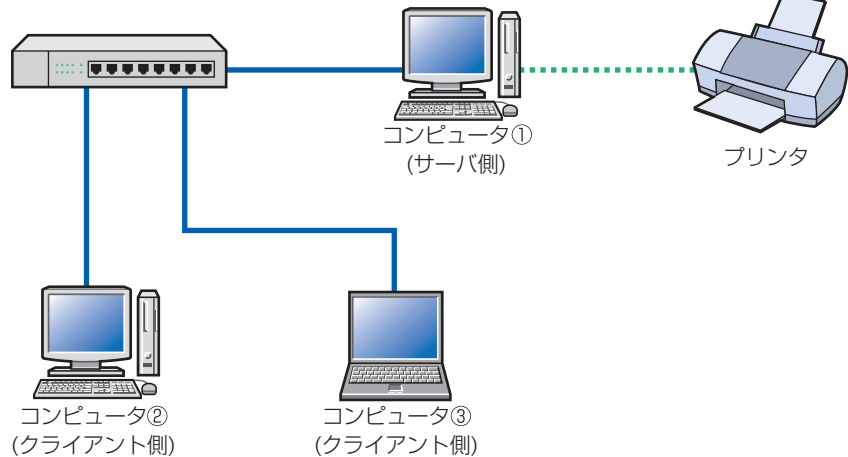
ネットワーク上のいずれかのコンピュータにプリンタが接続されている場合、そのプリンタを共有することで他のコンピュータからもネットワークを経由してそのプリンタから印刷できるようになります。



サーバとクライアント

一般的にプリンタ共有では、プリンタを直接接続したコンピュータを「サーバ」と呼びます。それに対して、ネットワークを経由してプリンタを利用するコンピュータを「クライアント」と呼びます。

●プリンタ共有を使用したネットワーク構成例



プリンタを共有するとコンピュータ①（サーバ側）に接続されたプリンタをコンピュータ②と③（クライアント側）がネットワーク経由で利用できるようになります。

※プリンタ共有でクライアント側から印刷するには、サーバ側のコンピュータを起動しておく必要があります。

サーバ側のコンピュータについて設定する



クライアント側の設定方法は

サーバ側の設定が完了したあとで、[Windows Vista 編 -23] ページ「クライアント側のコンピュータについて設定する」へ進んでください。


サーバ側のコンピュータ（前述の構成例ではコンピュータ①）に接続したプリンタを共有するための設定をします。

●プリンタの準備を完了しておいてください

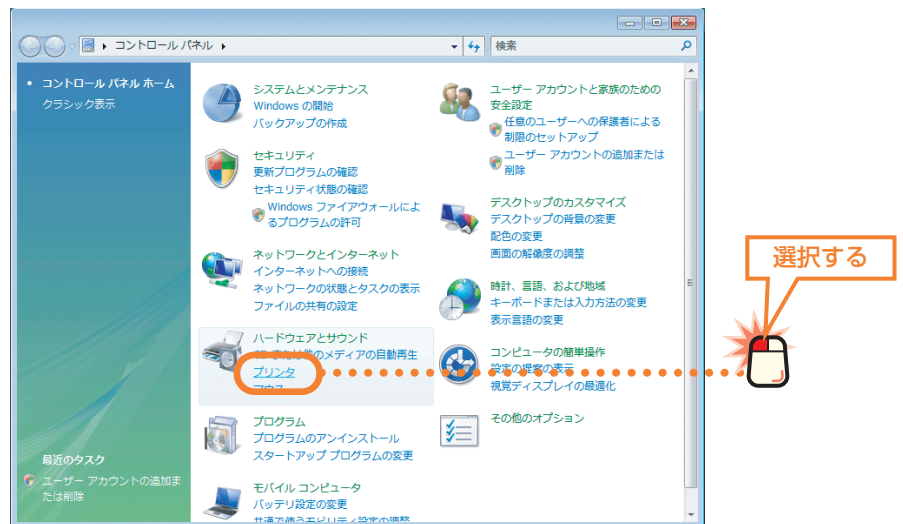
サーバ側のコンピュータについては、あらかじめプリンタドライバのインストールなど必要な設定をおこない、プリンタから印刷できることを確認しておいてください。プリンタドライバのインストール方法はプリンタに付属のマニュアルをお読みください。

1 ① [スタート] ボタン → ② [コントロールパネル] を選択します。



 クラシック表示の場合
[プリンタ] アイコンをダブルクリックします。手順 **3** へ進みます。

2 [プリンタ] を選択します。





プリンタのアイコンに表示される名称は、実際にご使用の機種の名前が表示されます。
画面例は CANON LBP-1810 を使用している場合です。

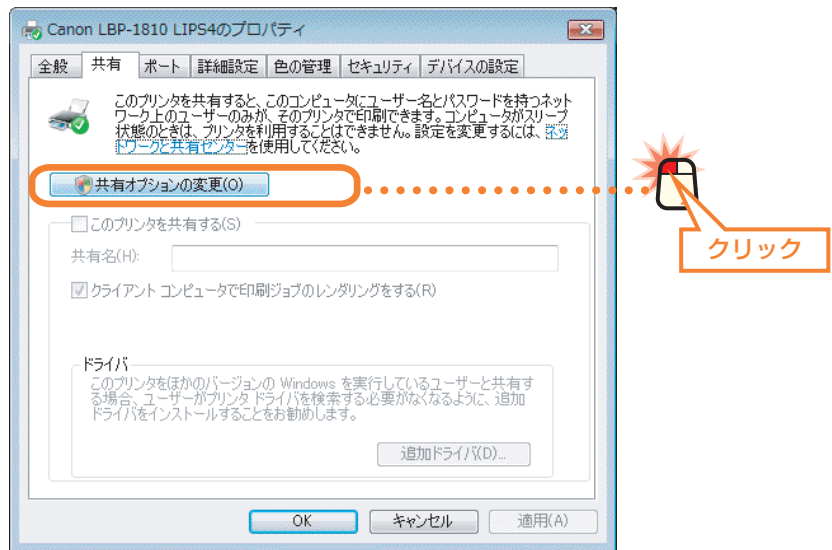


プリンタアイコンを右クリックし、メニューの [共有] を選択する方法もあります。

- 3** ① 共有したいプリンタのアイコンを選択します。
②、③メニューにある [共有] をクリックします。



- 4** 共有オプションの変更 ボタンをクリックします。
ユーザーアカウント制御画面が表示されますので、**続行** ボタンをクリックします。



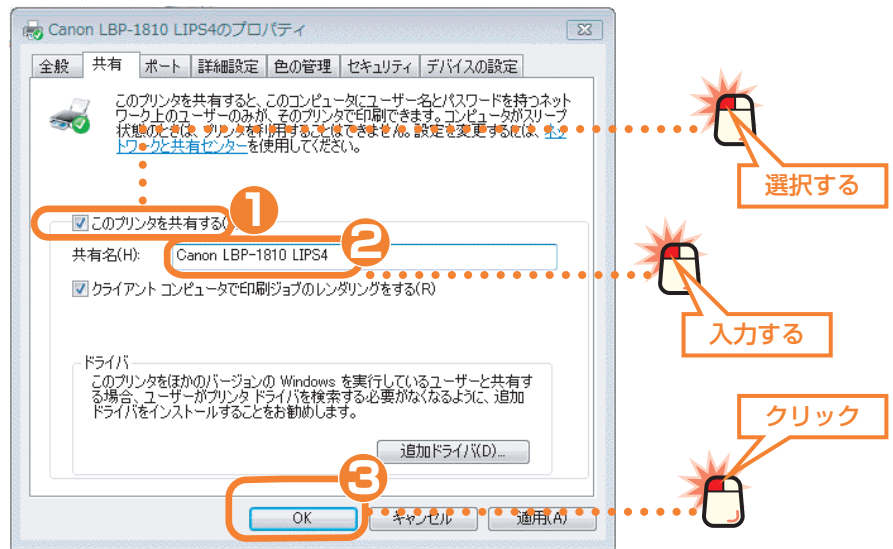
ユーザーアカウント制御 画面については、
[Windows Vista 編 -4] ページを参照してください。



[追加ドライバ] ボタン

ネットワーク上に Windows Vista 以外のコンピュータがある場合、このボタンをクリックし、一覧から OS を選択するとその OS で必要なプリンタドライバもこのコンピュータにインストールしておくことができます。ただし、INF 形式のプリンタドライバだけになります。EXE 形式のプリンタドライバは使用できませんので、最近のプリンタではこの機能を利用できない場合があります。このマニュアルではこの機能を使用せずに作業を進めます。

- 5 ① [このプリンタを共有する] をオンにします。
- ② 必要に応じて [共有名] を入力します。
- ③ **OK** ボタンをクリックします。



●共有名

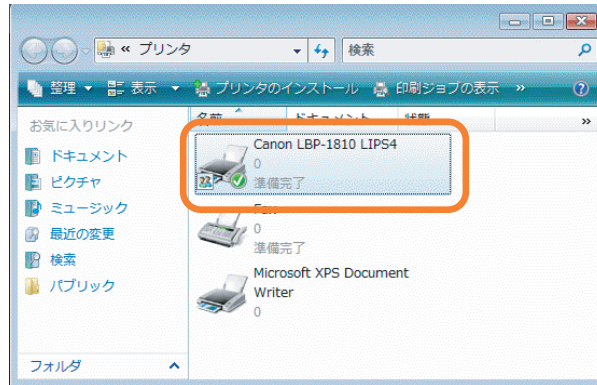
共有名は初期値のままでもかまいません。必要に応じて入力してください。使用できる文字は半角英数字、「-」、「_」などです。この名称は他のコンピュータで表示される名称になります。



Windows Me/98 マシンがある場合

Windows Me/98 を使用するコンピュータがクライアント側にある場合、共有名は半角英数字 12 文字以内に設定してください。12 文字を超えると Windows Me/98 では認識できません。

6 共有化したプリンタに人物のマークが表示されます。



これでサーバ側のコンピュータのプリンタ共有設定は完了です。続いてクライアント側のコンピュータの共有設定をします。次の「クライアント側のコンピュータについて設定する」へ進みます。

クライアント側のコンピュータについて設定する



サーバとクライアント

一般的にプリンタ共有では、プリンタを直接接続したコンピュータを「サーバ」と呼びます。それに対して、ネットワークを経由してプリンタを利用するコンピュータを「クライアント」と呼びます。

クライアント側の各コンピュータで、サーバ側のコンピュータに接続されたプリンタを利用できるように設定します。コンピュータの OS が Windows Vista 以外の場合は、実際に使用している OS 編の該当ページをお読みください。
(例)Windows Me の場合→ネットワーク設定マニュアル Windows Me/98 編の「クライアント側のコンピュータについて設定する」

●サーバ側のコンピュータの OS が Windows Vista 以外の場合

共有したプリンタを利用するには、クライアント側のコンピュータにもプリンタドライバが必要になります。サーバ側とクライアント側のコンピュータが同じ OS を使用している場合は、このあとの作業でサーバ側から自動的にプリンタドライバがインストールされますが、OS が異なる場合はあらかじめクライアント側のコンピュータにプリンタドライバをインストールしておく必要があります。以下の点に注意してあらかじめプリンタドライバをインストールしておいてください。




一部のプリンタについては、コンピュータにプリンタを直接接続し、電源を入れておかないとプリンタドライバがインストールできないものがあります。このような場合は、クライアント側のコンピュータにプリンタを接続してプリンタドライバをインストールしてください。インストール完了後、プリンタをサーバ側のコンピュータに接続してください。

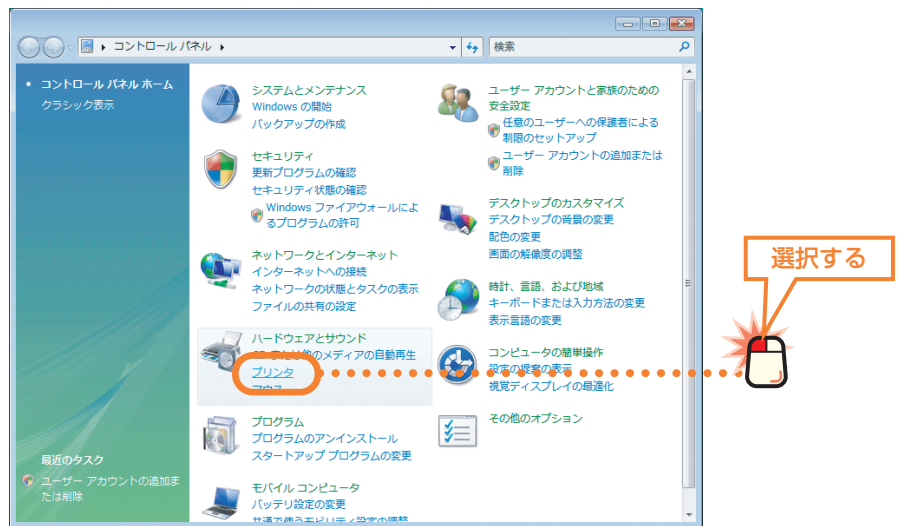
- ①プリンタの取扱説明書に従ってクライアント側のコンピュータにプリンタドライバをインストールします。
- ②途中でプリンタポートを指定する画面が表示された場合は、LPT1 または USB ポートを指定してください。実際にはこれらのポートは使用しませんがプリンタドライバをインストールするために仮に指定します。
- ③インストールが終われば、このあとの手順 **1** へ進みます。

1 ① [スタート] ボタン → ② [コントロールパネル] を選択
します。

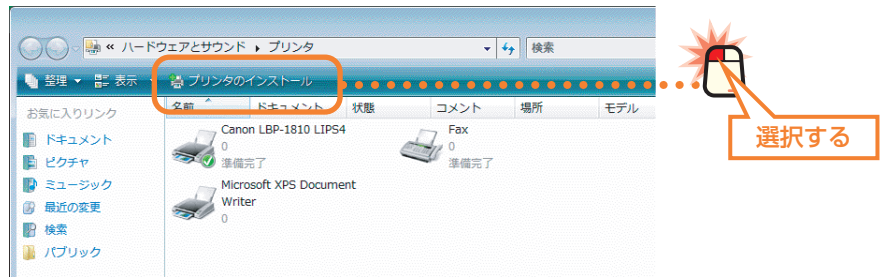


 クラシック表示の場合
[プリンタ] アイコンをダブルクリッ
クします。手順 **3** へ進みます。

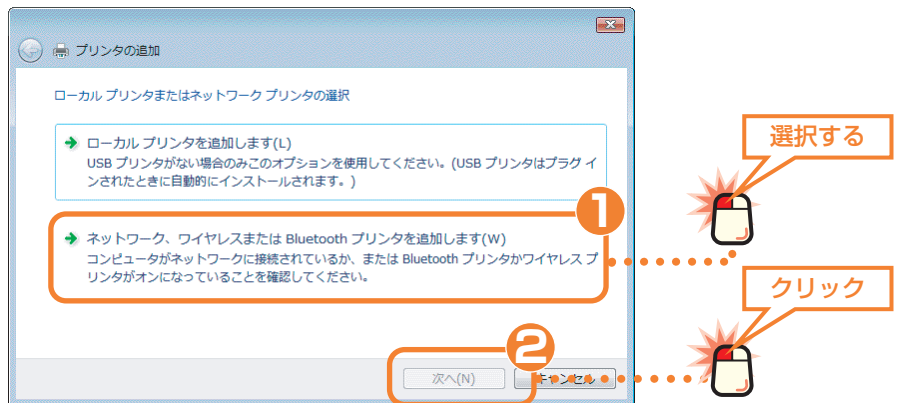
2 [プリンタ] を選択します。



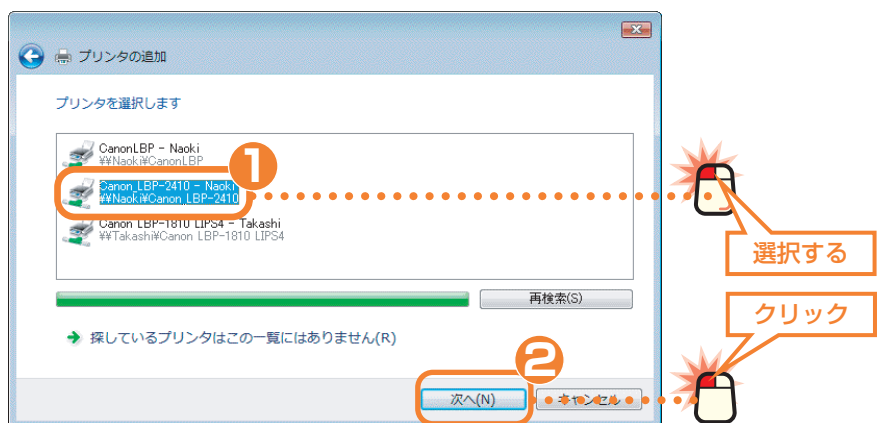
3 [プリンタのインストール] を選択します。



4 ① [ネットワーク、ワイヤレスまたは Bluetooth プリンタを追加します] を選択します。
② 次へ ボタンをクリックします。



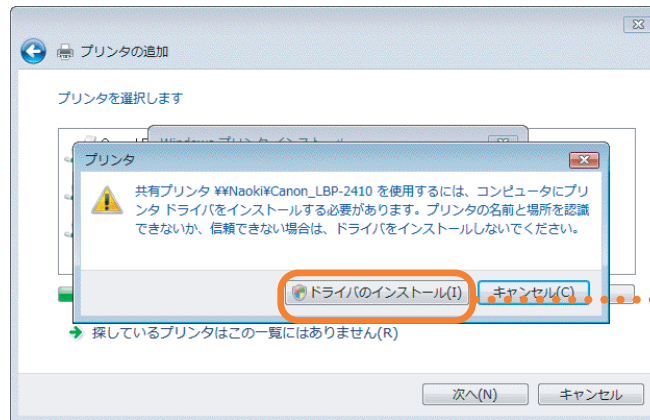
5 ① 共有したプリンタの名称が表示されますので選択します。
② 次へ ボタンをクリックします。





右の画面は、サーバ側とクライアント側がともに Windows XP または Windows Vista を使用している場合で、使用するプリンタのドライバがクライアント側にインストールされていない場合に表示されます。

6 以下の画面が表示された場合は、**ドライバのインストール** ボタンをクリックします。それ以外は手順 8 へ進みます。



7 <ユーザーアカウント制御> 画面が表示されますので、**続行** ボタンをクリックします。画面は [Windows Vista 編 -4] ページを参照してください。

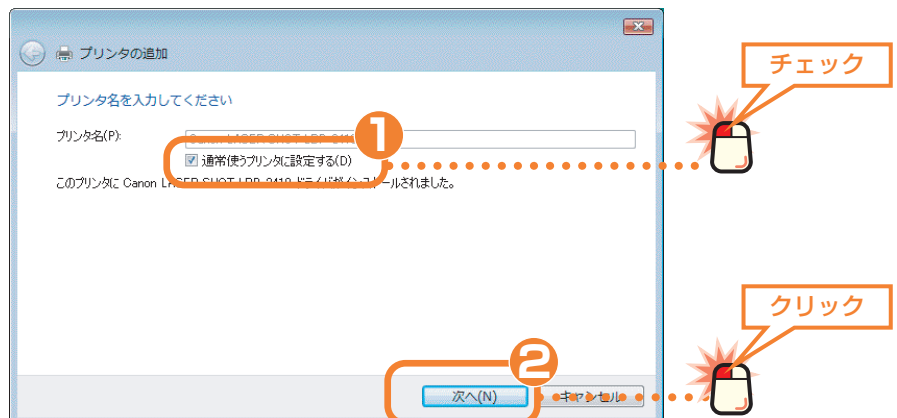


右の画面は、通常使うプリンタとして他のプリンタがすでに登録されている場合に表示されます。

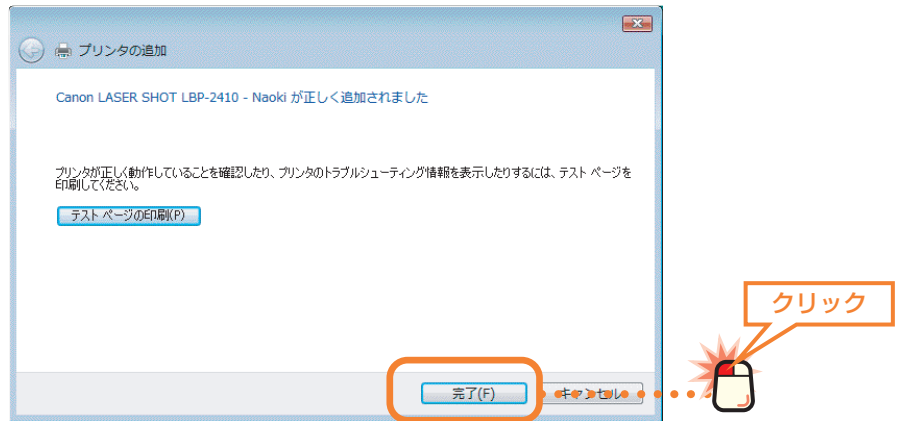
8 以下の画面が表示された場合は ① ② の操作をします。それ以外は手順 9 へ進みます。

① [通常使うプリンタに設定する] にチェック (✓) を付けます。

② **次へ** ボタンをクリックします。



9 完了ボタンをクリックします。



通常印刷するプリンタに設定していない場合は

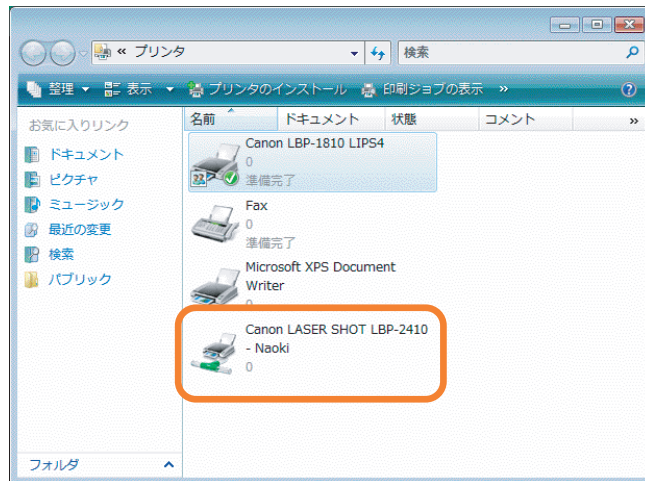
各アプリケーションの印刷画面にある [プリンタ] で、共有しているプリンタを指定すれば、あとはプリンタを直結している場合と同じ手順で印刷できます。



プリンタの双方向通信機能について

ネットワークで共有しているプリンタとは双方向通信ができないため、プリンタユーティリティの双方向を利用した機能については正常に動作しないことがあります。

10 <プリンタ> 画面に共有しているプリンタが表示されます。



これで Windows Vista のクライアント側のコンピュータでプリンタを共有する設定は完了です。通常使用するプリンタに設定している場合は、プリンタを直結している場合と同じ手順で印刷できます。

4

Windows Vista のアカウントを設定する

Windows Vista では、共有フォルダやドライブなどにアクセスできるユーザーを限定し、さらにユーザーごとにアクセス権を設定するセキュリティ機能があります。ここではこの機能を利用するためのアカウントの作成方法と共有設定でのアクセス権の設定方法を説明します。

アカウントを登録する



「アカウント」とは

アカウントは、ユーザー名とパスワードなどで構成されています。ユーザーは自分のパソコンに、登録されたユーザー名とパスワードを使ってログオンしておくことで、アクセスを許可された共有フォルダなどにアクセスすることができます。



クライアント

設定ガイドでは、共有フォルダを設定しているコンピュータにアクセスするネットワーク上の他のコンピュータを「クライアント」を記述しています。

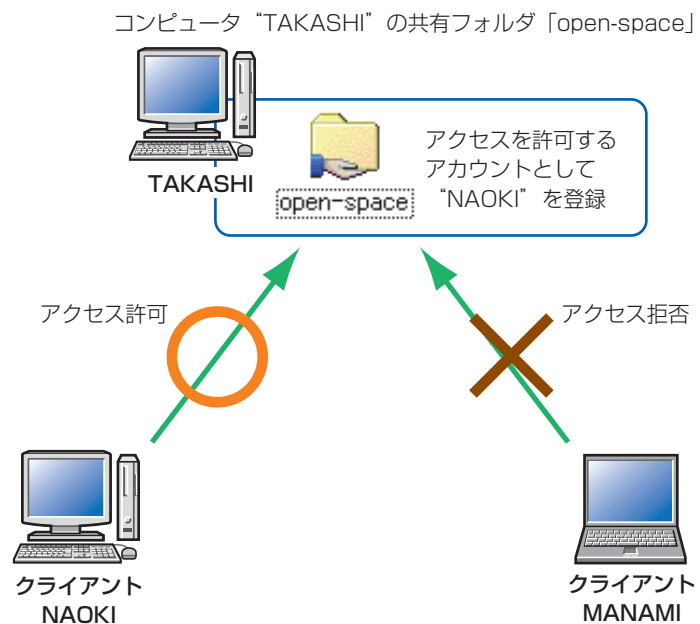


ログオン時の注意

クライアント側になるコンピュータは、相手の共有フォルダに設定されたアカウントのユーザー名とパスワードでログオンしておく必要があります。異なるユーザー名とパスワードでログオンしている場合はアクセスを拒否されます。

共有設定でのセキュリティ機能を利用するには、あらかじめアクセスを許可するユーザーのアカウントを作成し、共有設定でそのアカウントを登録しておく必要があります。これらの設定を正しくしていないと、共有フォルダなどに他のコンピュータ（クライアント）から接続することはできません。共有フォルダなどを作成する前に、アクセスを許可するユーザーのアカウントを作成してください。

■共有フォルダへのアクセス許可の例




クライアント「NAOKI」は「open-space」フォルダにアクセスすることを許可されているので「open-space」フォルダにアクセスできます。しかし、クライアント「MANAMI」はアカウントが登録されていないのでアクセスしようとすると拒否されます。

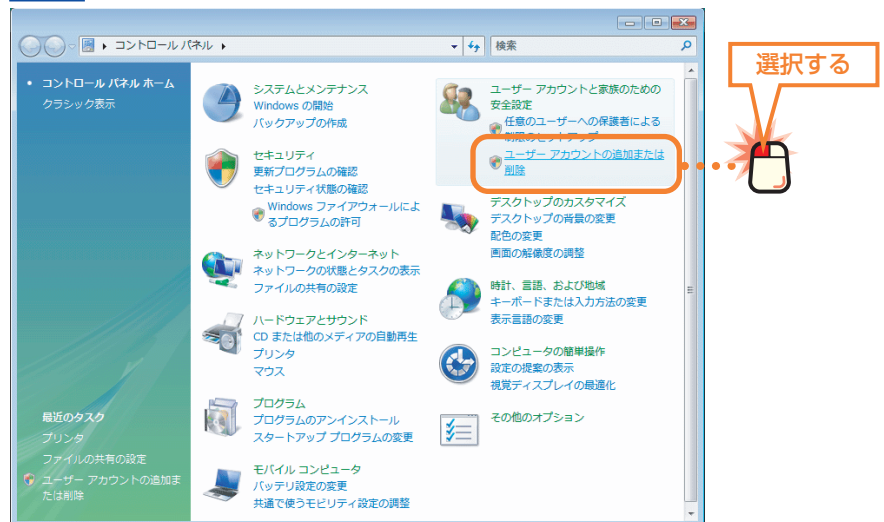
1 ① [スタート] ボタン → ② [コントロールパネル] を選択します。



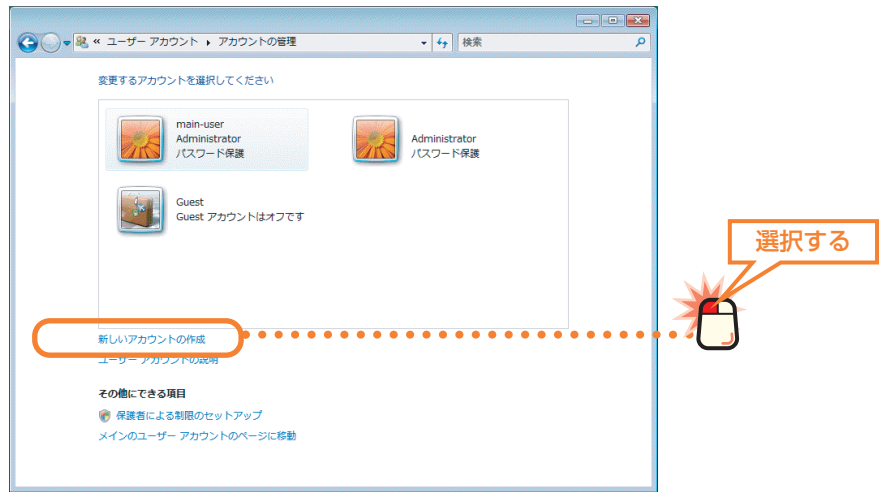
クラシック表示の場合
 [ユーザーアカウント] アイコンをダブルクリックします。

 ユーザーアカウント

2 [ユーザーアカウントの追加または削除] を選択します。



3 [新しいアカウントの作成] を選択します。



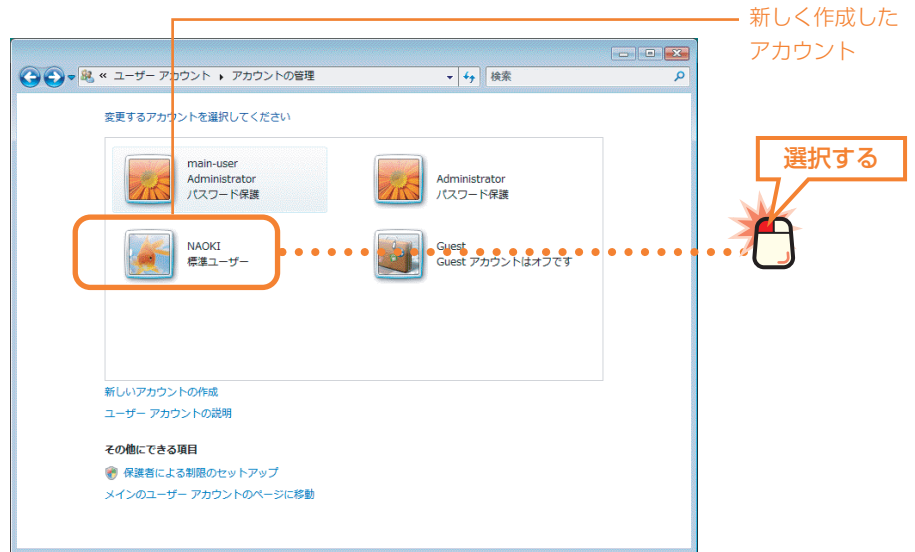
💡 アカウントの名前
 ここに入力するユーザー名は、アクセスを許可するクライアントがログオンするときに使用している名前です。

- 4 ① ユーザー名を入力します。
- ② [標準ユーザー] を選択します。
- ③ **アカウントの作成** ボタンをクリックします。

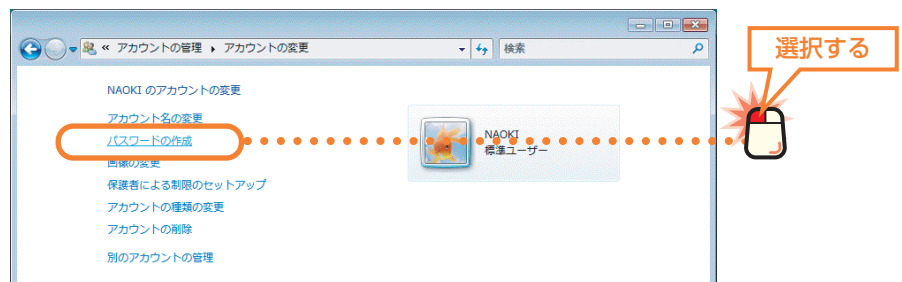


・ ユーザー名は大文字と小文字が区別されますので注意してください。

5 新しく作成したユーザーのアカウントが登録されます。続いてパスワードを設定しますので、作成したアカウントを選択します。



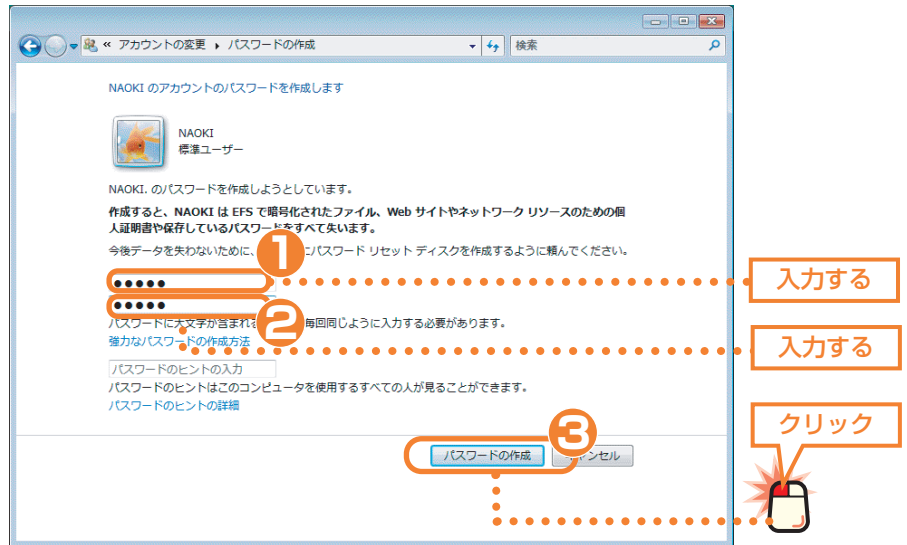
6 [パスワードの作成] を選択します。



**パスワード**

ここに入力するパスワードはアクセスを許可するクライアントがログオンするときに使用しているユーザー名のパスワードです。

- 7** **① [新しいパスワード] にパスワードを入力します。**
- ② [新しいパスワードの確認] に同じパスワードをもう一度入力します。**
- ③ [パスワードの作成] ボタンをクリックします。**



- 8** **〈ユーザーアカウント〉 画面の右上にあるクローズボックス  をクリックして画面を閉じます。**

これでユーザーのアカウントの登録は完了です。同じ要領でアクセスを許可するすべてのユーザーのアカウントを登録してください。